

令和 4 年度
企業版ふるさと納税
実績報告



令和4年度企業版ふるさと納税の実績について

令和4年度は、企業版ふるさと納税を活用し、企業の皆様から35,600千円の寄附(物品寄贈含む)をいただきました。

そのうち3,000万円につきましては、令和5年度から6年度にかけて実施する「宇和島柑橘農家の担い手育成プロジェクト」に活用させていただきます。

地域課題 デジタル技術を活用した教育環境の充実

1 小中学校 ICT 環境整備事業

- (1) 寄附企業 株式会社立花エレクトック
- (2) 寄附額 5,200 千円
- (3) 寄附年月日 令和4年10月12日
- (4) 寄附対象事業の概要

20台の電子ホワイトボードの物品寄附をいただく。(電子ホワイトボードは、市内小中学校で広く活用)

学校 ICT 環境整備の促進を図り、授業の効率化及び児童生徒の学習意欲と学力向上を図るものとして大いに寄与した。

- (5) 事業期間 令和4年度
- (6) 事業費 5,200 千円



地域課題 農林水産業を柱とした地域の産業力強化

2 柑橘農家の担い手育成プロジェクト

- (1) 寄附企業 日本曹達株式会社
- (2) 寄附額 30,000 千円
- (3) 寄附年月日 令和5年2月28日
- (4) 寄附対象事業の概要

「宇和島柑橘農家の担い手育成プロジェクト」において、日本有数の柑橘産地である宇和島市の農家の担い手不足などの諸問題に対して有効に活用予定。

- (5) 事業期間 令和5年度から令和6年度
- (6) 総事業費 33,000 千円



地域課題 「住みたい」環境の整備(移住・定住の促進)

3 移住・定住促進事業

- | | |
|---------------|--------------------|
| (1) 寄附企業 | あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 |
| (2) 寄附額 | 100 千円 |
| (3) 寄附年月日 | 令和 5 年 3 月 10 日 |
| (4) 寄附対象事業の概要 | |

市内外の多くの方々から「選ばれるまち」となることを目指し、重要課題である人口減少対策として、「移住者等の住宅取得に係る支援」などを実施し、更なる移住・定住の促進を図る。

- | | |
|----------|-----------|
| (5) 事業期間 | 令和 4 年度 |
| (6) 事業費 | 19,300 千円 |



地域課題 人や地域、まちが元気になる魅力的なうわじまづくり (「住みたい」環境の整備(移住・定住の促進))

4 その他

非公表の寄附企業:有

- ・ 寄附対象事業の概要:人口減少対策事業等
- ・ 事業期間:令和4年度



令和4年度寄附活用事業



地域課題 宇和島産品の販路拡大によるシティセールスの推進

【総合戦略】 地域特性を活かした産業・経済の活性化と雇用の場の創出

●販路開拓・観光誘客事業(市長公室・商工観光課)

事業費 4,738,793 円

都市部への地場産品の販路開拓支援や、本市に関心のある都市部の企業・団体等と連携した販売促進活動を行うとともに、国内姉妹都市において、販路開拓に合わせて情報の発信による観光誘客を行い、地域特性を生かした産業・経済の活性化を図りました。

01 都市部による 販路開拓強化

内容 首都圏での販売促進活動と販路開拓支援



民間オフィスビルでの PR 活動



よい仕事おこしフェア(大規模商談会)の出席

内容 都市部への地場産品の販路開拓支援



市主催個別商談会の開催(対面 ・ オンライン)



※ 国内姉妹都市(計4市町)

宮城県仙台市、長野県千曲市、宮城県大崎市、北海道当別町

内容 姉妹都市間における経済交流の促進



仙台市内での「宇和島フェア」の開催



東北ビジネスマッチ(大規模商談会)への出展

内容 姉妹都市等における観光プロモーション活動

営業先

- ▶ 姉妹都市：仙台市・大崎市・当別市・千曲市
- ▶ その他：東京都・札幌市・長野市



旅行ツアー造成 4件

姉妹都市等エージェントセールス

担当者の声

今回、企業版ふるさと納税を活用した事業を展開することで、地元企業の販路開拓支援をはじめ、首都圏や東北地方での情報発信機会の創出や強化、国内姉妹都市との経済交流の促進につながっており、今後も継続的に取り組んでいきたいと考えております。

【総合戦略】 子どもたちの心身の健全育成と、安全に安心して過ごせる居場所づくりの推進

●小中学校 ICT 環境整備事業(学校教育課)

株式会社立花エレテック様から、20 台の電子ホワイトボードの物品寄附をいただきました。

01 学校 ICT 環境整備



電子ホワイトボード
20 台
事業費 5,200,000 円

内容

- ▶ 20 台の電子ホワイトボードの物品寄附をいただく。
- ▶ 学校 ICT 整備の促進を図り、授業の効率化及び児童生徒の学習意欲と学力向上を図るものとして大いに寄与。
- ▶ 頂いた電子ホワイトボードは、市内小中学校で広く活用。

利用者の声 小学校

新品の電子ホワイトボードを見た児童からは、驚きと喜びの声がたくさん聞かれました。早速、3年生以上の外国語活動や外国語科の時間に活用しています。「画面が大きい」「画面がきれい」など今まで以上に集中している姿も見られます。画面に書き込みをしたり、調べた資料を発表したり、それ以外にもいろいろ活用法があるようです。

子どもたちの心身の健やかな成長につながるように、そして、教育力の更なる向上のために、寄贈していただいた電子ホワイトボードを活用させていただきます。この度は素晴らしい製品をいただきありがとうございます。

利用者の声 中学校

電子黒板の導入によって、パソコンの画面をそのまま黒板上に写し出すことができるとともに、パソコン操作もその電子黒板上で行うことができるので、板書する時間を削減し、授業を効率よく行うことができるようになりました。

また、自由に拡大する機能も生徒にとって大変便利で分かりやすい授業につながっています。保存機能もあり、繰り返しの復習にも大変役立っています。書いたり消したりが簡単でチョークの粉が出ないのも生徒に好評です。寄贈いただきました(株)立花エレテック様、高価な品物をいただき、本当にありがとうございました。これからも大切に使用させていただくとともに、電子黒板の活用方法をさらに研究し、生徒にとってわかる授業を数多く展開していきたいと思えます。



地域課題 「住みたい」環境の整備(移住・定住の促進)

【総合戦略】 魅力の発信による「住みたい・行きたい・帰りたい」の実現

●移住・定住促進事業(企画課)

人口減少対策として、「移住者や子育て世帯の住宅取得に係る支援」を実施し、更なる移住・定住の促進を図りました。

01

移住・定住 に向けた取組

住宅取得支援事業補助金

事業費 19,300,000 円

対象

- ▶ 移住世帯…令和4年3月1日以降に、市外から転入した者を含む世帯(単身者も含む)
ただし、転入日以前の1年間において、宇和島市に住所のない方
- ▶ 子育て世帯…申請する年度の4月1日時点において18歳未満の方または4月1日以降に出生した子が含まれる世帯(申請時において出産予定者がいる世帯も含む)

利用者の声

これまで賃貸住宅に住んでいましたが、子どもが生まれてからは、家建てて、地域との関わりを大切にしながら子育てしたいと思うようになりました。ちょうど子育て世帯を対象とした住宅新築費用の補助制度があることを聞いたので、活用させていただくことにしました。新築費用の負担は大きいので、大変助かりました。

主な支援内容

令和4年4月1日以降において、住宅の新築または中古住宅(市の空き家バンク登録住宅)の購入に要する経費に対し、補助金を交付しました。

○補助率…新築または購入にかかった費用の10分の1以内(上限50万円)

※世帯主または世帯主の配偶者の親と同居する場合、15万円を加算



お問い合わせ先

市長公室 ふるさと納税係

Tel : 0895-49-7088

Mail : furusato@city.uwajima.lg.jp